

原作

監督

音楽

伊坂幸太郎 × 中村義洋 × 齊藤和義

宮城・仙台市から東北へ、そして日本全国へ——

『アヒルと鴨のコインロッカー』『ゴールデンランバー』のチームが
68分に想いを込めて贈る、強くあたたかい家族の物語

同じ年、同じ日に生まれた2人。

26年後、プロ野球のスター選手と、さえない大人になった彼らは、
目に見えない強い力によって引き寄せられていった——。

ポテチ

濱田岳 木村文乃 大森南朋 石田えり

中林大樹 松岡茉優 阿部亮平 中村義洋 桜金造

監督・脚本：中村義洋 原作：伊坂幸太郎『ポテチ』（新潮文庫刊「フィッシュストーリー」所収）音楽：齊藤和義 主題歌：「今夜、リンゴの木の下で」齊藤和義（SPEEDSTAR RECORDS）
 企画・プロデュース：松本野 企画協力プロデューサー：遠藤日登見 プロデューサー：若林建介 撮影：相馬大輔（USC） 照明：佐藤浩太 美術：尾関龍生 録音：小林圭一 衣裳：西原由起子 ヘアメイク：池田美里 編集：李英美
 監音：石川洋 ポストプロダクションプロデューサー：渡田学 VFXスーパーバイザー：大塚真司 土上スクリプター：小林加苗 キャスティング：山口正志 安全係：宣伝プロデューサー：神山明 助監督：平林亮理 制作担当：村松大輔
 製作プロダクション：スモーク 制作協力：ダブ 製作：ショウゲート 東日本放送 河北新報社 スモーク 企画協力：新潮社 アミューズソフトエンタテインメント
 協力：宮城県仙台市 せんだい・宮城フィルムコミッション 配給：ショウゲート 2012年/日本/ビスタ/5.1chデジタルサラウンド/カラー/68分 ©2007 伊坂幸太郎/新潮社 ©2012「ポテチ」製作委員会 potemchi-movie.jp



信じる気持ち、人と人との絆、優しさと強さ——

当たり前すぎてつい忘れがちな、でも大切な感情を
68分のなかにギュッと深く詰め込んだ映画『ポテチ』。

仙台の街から東北へ、そして日本中へ、
新しい家族の物語を届けます。

おかしみに満ちた楽しい映画で、
今もこのコメントを書きながら、
映画を思い出して頬が緩んでいます。
原作よりも映画のほうがいい
と言われそうで、怖いです。

——作家 伊坂幸太郎

時を同じくして重なり合った彼らの熱い想いは、震災後すぐに
企画・制作へと動き出し、被災地となった仙台でオールロケを敢行しました。

宮城・仙台を舞台とした映画を次々と世に送り出してきた、伊坂幸太郎(原作)と中村義洋(監督)の強力タッグ。
そして、シンガーソングライターの斉藤和義(音楽)。主人公の今村を演じるのは、伊坂映画化作品に欠かせない
濱田岳。今村の恋人・若葉役は期待の若手女優・木村文乃、今村の母・弓子役は石田えり、今村が尊敬する空き
巣のプロ・黒澤役には大森南朋、物語同様に絆や縁に引き寄せられた豪華スタッフ&キャストが集結しました。

同じ年、同じ日に生まれた2人の青年の奇妙な運命とは——

原作は、伊坂13冊目の中短編集『フィッシュストーリー』(新潮文庫刊)のなかの中編「ポテチ」。
仙台の街で生まれ育った2人の青年の奇妙な運命を独特の切り口で描いた感動の人間ドラマです。
プロ野球のスター選手・尾崎と、空き巣を生業とする凡人・今村、別々の人生を歩んでいるかの
ように思えた2人は、目に見えない強い絆で繋がっていた……。そんな運命に翻弄される主人公を通
して、家族や恋人、友人、大切な人を想うあたたかな気持ち、目には見えないけれど確かに存在する
強い絆を独特のユーモアで描いていきます。そして、凡人の母への愛とラストに訪れる爽やかな感
動は、観客ひとりひとりの明日への一歩につながるはずです。

4.7(土)仙台先行 宮城県内6劇場
5.12(土)全国ロードショー!

前売特典(『ポテチ』応援ステッカー)付特別鑑賞券
¥1,000(税込) 発売中! 当日一般¥1,300のところ(数量限定/一部劇場除く)

絶賛発売中!
伊坂幸太郎
『フィッシュストーリー』(新潮文庫刊)

新宿駅東口・
伊勢丹メンズ館そば
新宿ヒカデリー
03-5367-1144

神戸国際松竹

MOVIX 亀有

川崎チネチッタ

センチュリーシネマ

ワーナー・マイカル
板橋

大阪ステーション
シネシネマ

ワーナー・マイカル
大高

横浜ブルク13

なんば
パークスシネマ

福岡中洲大洋

ワーナー・マイカル
港北ニュータウン

MOVIX 京都

札幌
シネマフロンティア